

平成24年度第3回宮前区区民会議
議事録

平成24年度 第3回 宮前区区民会議

1 日 時 平成24年11月20日（火）午後6時15分

2 場 所 宮前区役所 大会議室

3 出席者

(1) 委 員 直本委員長、宮崎副委員長、黒沢副委員長、平井委員、大村委員、福田委員、森山委員、田浪委員、豊島委員、大槻委員、白井委員、芒崎委員、太田委員、岡委員、佐々木委員、山下委員、藤田委員

(2) 参 与 竹田参与

(3) 事務局

4 議 事

① 審議経過報告について

② 部会審議内容に関して質疑応答・意見交換

③ 区民会議フォーラムについて

④ 今後のスケジュールについて

5 傍聴者数 2人

午後6時15分開会

司会（日下部） 皆さん、こんばんは。定刻になりましたので、これより区民会議を開催させていただきますと存じます。

本日の司会を務めます区役所副区長の日下部でございます。よろしくお願いいたします。恐縮ですが、ここから座って進めさせていただきます。

まず、会議の開催に先立ちまして事務連絡をさせていただきます。本日の会議は、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づきまして公開とさせていただいております。したがって、傍聴、報道機関等の取材の許可をしておりますのでご了承くださいと存じます。

また、会議録の作成に当たりましては速記者が同席をさせていただいておりますのでよろしくお願いいたします。

本日発言がございました方々につきましては、後日議事録の確認をお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

なお、確認後、議事録につきましては区役所のホームページに掲載させていただきますので、ご確認をいただければと思います。

また、傍聴の方々につきましては、遵守事項をお守りいただき、本日の会議に関するアンケートへのご回答をご協力いただきたいと思います。

次に、本日の委員、参与の出欠状況等でございます。区民会議委員につきましては、本郷委員、浦野委員、佐藤委員から欠席ということでご連絡をいただいております。

す。参与につきましては、事前に飯田議員、矢澤議員、持田議員から欠席をすると連絡をいただいております。まだお集まりではございませんけれども、おこなっているようでございますので、後ほど参加されると思います。

1 開会あいさつ

司会（日下部） 続きまして、議事に先立ちまして宮前区長の石澤から一言ごあいさつを申し上げさせていただきたいと思っております。

区長 皆さん、こんばんは。宮前区長の石澤でございます。大変お忙しい中、第4期の宮前区区民会議、第3回会議という形になりますけれども、冒頭に当たり一言ごあいさつをさせていただきます。とはいえ、3回目ということもありますので、余り形式的なごあいさつはしないほうがいいかなと思っています。

今日の資料を事前に拝見しまして、2つの部会のほうからテーマの審議の経過、そういったものがこれからご報告があると聞いております。その中で私もちょっと資料を見せていただいて、中身というよりは、その中に出てきた環境と人部会の摘録の中にウォーキングという言葉が出てきたんですね。実は私にとってみてもとても身近な言葉でございます、当然委員の皆さん、あるいは地域の皆さんは宮前区のことをよくご存じなわけです。そういった皆さんとやりとりをするときに、やはり自分も、期間は短いですが、その期間の中で少し宮前のことを知らないといけないなということで、手元にこういった、一番初めに渡されたのはこの「宮前区ガイドブック」、それと「宮前区歴史ガイドまち歩き」ですか、これは第1号なんですけれども、これから続いて出てくるものです。それとみやまえ坂道ウォーク、これをちょっと机のわきに置いているんですけれども、土曜日、日曜日にいろんな場所でごあいさつさせていただく、ただ、それは10分とか15分で終わってしまいますので、その後ちょっと時間を使って宮前のいろんなところを歩くようにしています。車では大分回りましたので、大体位置関係だとかそういったことはこの間で理解できたかなと思うんですけれども、やっぱり歩いてみますと、こことここがつながるんだというのが自分の足で歩くと実感として強く残る、そういうことを経験しました。

宮前をより理解するためには、やっぱり皆さんといろいろお話しすることも大切です、実際自分で歩いて、宮前というのはどういったまちなのかということを実感することも非常に大切なことだなと、今そんなふうに思っております。

またもう1つの部会、地域・世代間交流部会、こちらの摘録の中に、小学校区をベースとした活動、交流という表現があったんですね。先日、土曜日、日曜日になりますけれども、17日、18日は宮前区の総合防災訓練を実施いたしました。我々の区の本部の初動対応の訓練を17日の午後から行いまして、宮前平小学校のほうで避難所訓

練、そして夕方から宿泊訓練をそちらの体育館で行いました。そこで校長先生とお話しする機会があったんですけども、防災ということだったので、小学校の危機管理ということについてお話を聞いたんですけども、やっぱり先生のほうからは、地域と区役所、地域というのは、先生からすると、町内会、自治会、そういった意味合いで使っていたんだと思うんですけども、それと区役所との連携を非常に求めておりました。私どもにはこども支援室というのがありまして、そこには学校の先生も来ていますので、そういったことでは子育てですとかそういった点では学校とのつながりはあるんですけども、そこに限らず区役所全体として小学校、中学校と連携をして、危機管理だけでなく、いろんなところで業務を進めていく必要があるな、そんなふうに思っています。ちょっとこの間の感想めいたごあいさつになりましたけれども、本日はよろしくお願いいたします。

司会（日下部） 石澤区長からあいさつを述べさせていただきました。

続きまして、本日皆様のお手元に配付してございます資料の確認をさせていただきますと存じます。まず1ページ、本日の会議次第です。2ページが座席表、3ページが部会の分類、4ページから7ページにかけまして環境を活かした人づくり部会の報告資料、8ページから15ページが地域・世代間交流部会の報告資料でございます。16、17、18ページはフォーラムの検討関連資料となっております。19から22ページにわたりまして平成25年度の事業計画案ということで載せさせていただいております。23ページが区民会議のスケジュールということで、以上が本日の会議資料でございますが、落丁等がございますでしょうか。よろしいでしょうか。

2 議 事

司会（日下部） では、これより第4期宮前区区民会議第3回の全体会議を開催いたします。ここからの進行は委員長にお願いしたいと思います。では、直本委員長、よろしくお願いいたします。

直本委員長 それでは引き続きまして、宮前区の委員長をしております直本でございます。司会進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

先ほど区長さんからごあいさついただきました中で防災訓練の話がありまして、私も実は防災訓練に参加しておりまして、ただ、夜は大変あの日は雨風がひどくて土砂降りのたたきつけるような雨が降って寒かったです。寒いですね、こんな日に夜過ぎすというのは大変ですねなんて言いながら親しく初めての方と会話をしながらいろんな訓練に参加させていただきまして、大変いい勉強になったなということを皆さんとお話いたしました。ありがとうございました。

本日の区民会議でございますが、第3回目ということで、第1回目のときには区民

会議の委員の皆様から大変多くの課題の提案がございました。第2回目の区民会議におきまして、9つの領域に絞りをかけさせていただいたという経過がございます。ただ、この9つの領域といいましても、まだまだ大変幅広い領域でございまして、区民会議の委員の皆様方の共通の理解がどうも足りないのではないかなということ、一応2つの部会に分けて共通の理解を得るためにどのようにしたらよいのだろうかといったようなことからそれぞれの部会で部会を持って進めていただいております。本日はそれぞれの部会がその間行いました2回の部会の経過を踏まえまして、どのように進んできているかということ部会長さんからそれぞれご説明をいただきたいと思っております。

それでは最初に、環境と人部会のほうから佐々木部会長から説明をお願いいたします。

佐々木委員 環境を活かした人づくり部会の佐々木です。よろしくお願いします。ちょっと座って話をさせていただきたいと思っております。

私たちは環境を活かした人づくり部会という名前なんですけれども、まず名称としてちょっと長いので、私たちの内部の愛称としては環境人ということで環境人部会と呼ばせていただいております。実際にどんなことをテーマに話し合いを行っているかということ、環境を活かした人づくりということですので、最終的な目標については人づくり、そのために目的意識を共有できるもの、そして多くの人に参加できるような仕組みをつくっていききたいという大命題がございます。そのためには、まずこの宮前区は非常に環境がいいと周りからも言われております。では、その環境がいいといった場合にどんな環境かということ私たちはまず部会で話し合いました。大きく環境というものを、まず自然に関する花と緑。非常に花と緑がきれいな、コスモスが非常に美しく咲いていたり、桜の花がきれいに咲いているような宮前区を活かした環境づくり。そしてもう1つのテーマとしては、健康とスポーツ。スポーツといっても、アスリートみたいにしゃかりきにやるスポーツということではなくて、あくまでも健康づくり、体力づくりということを目的としたスポーツ。そういう2つの環境をテーマに、どうやって最終的には人づくりをしていったらいいかということ話し合っております。

人づくりというのは非常に大きなテーマですので、こちらについてはまだこれから実際話し合っていくんですけども、まず環境について、2回目の部会の中でどんな課題があるのかということ部会の中でいろいろ話をいたしました。その中で幾つかのキーワードがございまして、公園の花壇、街路樹、そして公園を生かした体操、あと里山をどうするかということがいろいろ議題として挙がっております。

宮前区の中で実際いろんな活動を行っている団体があつて、うまくいっている例もあるということで、まずはそれをこの部会委員のみんなで共有しようじゃないかとい

うことで、私どもはぜひ見学会をやろうという方向性で話が進みました。そこで、実際に2回ほど見学会を実施しております。1回目は、ちょうど区民祭がございました10月21日、これは区民祭の会場のすぐ近くに水沢の森というところがございます。そこを2回に分けてまして午前午後ということで、これは個人的に参加できる部会のメンバーがそれぞれ参加するという見学会を行いました。もう1つは、これはつい先週なんですけれども、14日の水曜日に、この部会、出席できる人間全員で、いわゆるツアーという形でそれぞれの今言ったような自然あるいはスポーツということ 키워ドにして非常にうまくいっている事例をみんなで見学して共有しようじゃないかということで見学会を実施しました。イメージとして今回写真を撮っておりますので、それを見ていただいたほうが多分わかりやすいと思います。

まず最初の写真ですけれども、こんな形で全員で10人くらいでしたと思いましたが、マイクロバスでぐるっと回りました。まず最初に行ったのが宮崎第4公園というところがございます。こちらは「緑の里山の会」というボランティア団体さんが約10年近くかけていろんな整備をボランティアでしていると。結構荒れた斜面が多かったということなんです、それをいろいろ自治体と協力のもと整備しているという事柄でございます。実際にその「緑の里山の会」の代表で、こちらにもいらっしゃいますけれども、大村さんのほうからどんな活動をしているかというものをまず部会のメンバーにレクチャーして情報を共有するという形でぐるぐる回っております。先ほど言ったように、ここは非常に斜面が多いんですね。こんな形で階段を上りながらその斜面をどうやってきれいに整備していくかということをいろいろお話しいただきました。

大変広い公園でして、中にはこういういろんな野草というんですか、植物が自生しております。それらを1カ所に集めたこういう第4公園の生物たちということでちょっとした展示というんですか、こういう形の野草がありますよというような展示物のコーナーもございました。

これは珍しかったので写真に撮ったという、サルスベリの木が公園の中にあっただんですね。こういう非常に珍しい木も生えているような公園です。

この公園を後にして、次が、これは道の途中でちょっと寄ったところなんです、コミュニティガーデン実行委員会の方が非常に熱心に花壇を整備されておりました。

次が、通称とんもり谷戸と呼ばれる場所でございます。生田緑地の南側、初山地区のことを通称とんもり谷戸と呼んでおまして、これは里山として非常にきれいに整備されているところでございます。とんもり谷戸の自然を守る会というボランティア団体さんが非常に熱心にこちらの整備をされております。

次の写真です。このとんもり谷戸の中にちょうど第2期の区民会議で実行しているみやまえカルタ、そのみやまえカルタのこういう実際のものがオブジェとして飾って

あったりすると。ちょうどまだ除幕式が行われている前なんですかね、ビニールをかぶって非常に新しい状態でありました。

次が、これは実は名前がないそうです。生田緑地の中に非常に広い音楽が聞けるような公開音楽堂みたいなイメージのすてきな場所がございました。これは名前がないそうですが、イベント等はたまに行っていると伺っております。

次に見学したのが、こちらは平瀬川です。平瀬川流域まちづくり協議会という団体さんが非常に熱心に活動されている平瀬川の写真です。こちらは聞いたところによりますと、10年以上前ですか、ごみがたくさんあった川、ところが、今ではアユがたくさん泳ぐ川に変わったと伺っております。特に特徴的なのは、これから写真を3枚連続してお見せするんですが、まずちょっとこの護岸、ここをちょっとご注目いただきたいんですが、通常川というのはこのような護岸になっているんですけども、ちょっとさっきと雰囲気が変わりました。石づくりみたいな形で非常に川らしくなってくるんですね。これは非常に行政の方といろいろご苦労してこんな川の護岸工事をしていただいたと伺っております。

次の写真をお願いします。先ほどよりまださらに上流のほうに進んでいくと、非常にもっとどンドン川らしくなっていくんですね。いわゆる自然の川、もともとあったような自然の川のほうになっていきます。

最後、お願いします。こんな形でちょっとした遊歩道もついておりまして、こちらにアユが実際に泳いでくるそうです。

ということで、宮前区の中にもいろんな自然をうまく活用できているという場所がたくさんございました。大体私どもメンバーはこれらのことは知ってはいたんですけども、実際にいろいろ回ってみて、そして現地のそういう活動をしている方から直接お話を聞くことによって非常に深くこういう活動について知ることができました。なおかつ情報も非常に共有できたので、これから私どもがいろいろお話ししていく中でスムーズにいくんじゃないかと思っております。

特にこの見学会の後にアンケートをとりました。実際にメンバーの方からは総意としては、あることは知っていた、行ったこともあるんですが、やはりこういう見学会を通じていろんなお話を聞いていると、新たな発見や気づきがあったと、今後はこれらの体験も共有した上でこのすばらしい環境を活かしたまちづくり、人づくりについて、さらに部会内で知恵を出し合っていきたいというのが私たち部会の総意でございました。

以上、簡単ではございますが、私たち、略称環境人部会ですけれども、環境を活かした人づくり部会の報告とさせていただきます。

直本委員長 ありがとうございます。質疑はまとめて最後の時間にとりたいと思いますので。

続きまして、地域・世代間交流部会を大槻委員から説明をお願いしたいと思いません。

大槻委員 それでは、8ページですか、まだ名称が決まっておきませんので仮称ですけれども、地域・世代間交流部会ということで2回開催しております。1回目は9月25日、それから2回目が10月16日ということでございます。

第1回目は、先ほどの3ページのところにありますけれども、テーマの5番から9番がここに該当するわけでございますけれども、主に最初の討議のときには6番、7番関係、子育て親の地域意識醸成とこどもの教育を支援というようなことを中心にいろいろ討議をしたわけであります。その様子は5ページに書いてございますけれども、議論の集中というのは、やはりそこにありますように高齢者の問題と高齢者と子どもとのかかわりの問題であるとか、地域でいろいろボランティア活動しやすいような情報、ニーズとのマッチングの問題であるとか、あるいは自治会を中心とした生涯学習の問題であるとか、あるいは子どもの遊び場の問題等々いろいろ議論したわけでありますけれども、その総論にありますように、小学校区程度のところで歩けるような徒歩圏内の地域をベースにして、世代であるとか、あるいは活動分野を超えた区民の交流、あるいは新たな参加層の確保などによって地域コミュニティーの場を形成するというようなことも考えられるのではなかろうかと。宮前区の特徴として、前にもいろいろここでも議論がありましたけれども、教育を生かした取り組みが何か考えられないだろうかというようなのが第1回目の議論でございました。

第2回目は、11ページにありますけれども、第1回目のときにいろいろ議論があった中で、1つ、わくわくプラザの運営状況は一体どうなんだろうかというようなことであるとか、あるいはこのような生涯学習であるとか、あるいは子どもの教育の支援というようなことで、ほかの地域でどのような活動をやっているだろうかというような2点についていろいろ調べた結果を報告がございまして、その上で議論を重ねたということであります。

議論の中ではいろいろ小中学生に焦点を当てて、生き生きと育っていくようなことができる支援、あるいは開かれた学校へというようなことをどうするか、あるいは家庭教育の問題、親そのものの教育もあるのではないかなというような親そのものの教育の問題、子どもの教育の支援の問題、あるいは価値観というものが多様化してまいりますので、世代間の交流、そういうふうなものも必要だろう。あるいは核家族化に対応した問題として、それに伴って接する機会が少なくなってきておりますので、こういうようなものをどういうふうにするか。例えば中学校の部活動の支援の方法などもあるのではなかろうか。あるいは地域が学校にどういうふうに入っていくののいいのかなというようなことの議論をしたわけであります。まとめると、1つはやっぱり世代間の交流の必要性をどうするか、2番目は、親教育、親育ち教育の必要性

の問題、あるいは3番目に地域社会のポテンシャルティーを広めるというようなこと、それから4番目に開かれた学校というふうな結果というようなことだったろうと思います。

それで、いろいろまとまりがなかなか進まないものですから、まず現在の小学校において地域との連携、交流あるいは地域人材の活用、そういうような現状がどうなっているかというようなものを各学校にアンケートしてみようということで、12ページからありますようなアンケートを各学校に出しまして、その回答の結果も踏まえて、さらに議論を深めていったらどうかというようなことになっております。

そういうことでまだまとまりのない状態になっておりますけれども、以上がこの部会の討議状況でございます。

直本委員長 ありがとうございます。両部会ともようやく共通認識、共通理解が1つの方向づけを持ってきたかなという段階で、まだ絞り込むところまでは行っていないようです。これから課題の絞り込み、また具体的な実現に向けての方向性の検討といったことを続けていくということになるわけでございますが、本日2つの部会から発表がありましたことについて、それぞれ補足説明ですとか、あるいは反対側の部会についてのご質問ですとか、あるいはそれぞれの部会、反対の部会についても結構ですが、ご意見等がありましたら、ぜひこの機会ですので発言をお願いしたいと思います。まず最初に、それぞれの部会には副委員長さん方が参加されておりますので、補足説明を兼ねて口切りを副委員長さんをお願いしたいと思います。

黒沢副委員長 黒沢です。ただいま佐々木さんから詳細な見学のご報告がありましたので、全くそのとおりでございまして、私も今、平瀬川の流域のまちづくり協議会というところやとんもり谷戸で日曜日の午前中はいろんな作業をしておるわけでございますが、いつもメンバーが20人、30人集まっているような作業をやるのでございますけれども、ぜひいろんな方にもっと大勢の方に参加していただければといつも思っております。

特に宮前区は緑の区で花のきれいなところが多いという、そのとおり、各会員が協力して季節季節に応じた作業をやっております。ぜひもっと大勢の方に参加していただければと常々思っております。

宮崎副委員長 宮崎です。地域・世代間交流部会のほうなんです。以前に比べれば、地域間の団体というか、諸団体の交流は大変盛んにはなっているんですけども、まだまだ目に見えないバリアだとかハードルが社会のあちこちにあるようなので、そういったものをできるだけ解消させるような個々人の努力が大変必要ではないかと思っております。

先般NHKのテレビで埼玉県のある小学校の6年生を対象に、要は町長選か何かの投票率が極めて、30何%だったかな、そんなことで埼玉大学の先生が中心になって教

育委員会と連動して、その小学校の6年生か何かに、豊臣秀吉と徳川家康を候補者に見立てた、要は模擬選挙みたいなものをやられて、そういうことでまた社会とのかかわりをさらなる発展につながる、1拍か2拍置いた場合にはそういったことが実際の投票行動にあらわれるんじゃないかなと思うんですが、そういったことのきめの細やかな個人々の努力がまちづくりには大変必要ではないかなと私は感じております。

直本委員長 それでは、それぞれの副委員長さんからちょっと補足説明を兼ねてのお話がありましたので、ここから先は区民会議の委員の皆様方それぞれ補足説明なり感想なりご意見をお願いしたいと思います。

まず環境人部会に全員参加されているようですので、どなたか参加されたときの感想を含めてお願いしたいと思います。

大村委員 私は先ほど出てきました第4公園のほうの管理をしているんですけども、私が言いたいのは、第2期の区民会議の総括報告書というのをいただいているんです。そこには公園地域づくり部会というのがありまして、すごい提案というか、意見を出していただいているんです。では、現在どう変わっているのかというのがつぶさにはわからないんですね。だれか解説してくれれば一番いいんですけども、こんないいレポートがあっても、ちっとも前に進まないというのが区民会議の結論みたいだと思うんです。

それで、何が足りないかというのを私なりに考えてみたんですよ。私どもの佐々木部会長が報告したように、各見学して回ったところは必ず人が関与しているわけです。ボランティアの団体がもう何年もかかって一生懸命やっているんです。公園とかとんもり谷戸とか、いろんなところを手入れをしてやっているんです。この2期の区民会議の報告から何うと、公園緑地管理運営協議会の活性化のための支援なんていう立派な言葉が書いてあるんですけども、ここには人の関与が見当たらないんですね。人が動かないと環境もよくなりませんし、緑も多くなりません。私は自分で実際にやってみて、やっぱり人を集めて環境をよくしていくという努力を積み重ねない限り、宮前区の公園だとか緑地はよくなりませんと感じていますので、今後の議論を待ちたいと思います。

直本委員長 大変厳しい意見を踏まえながら、今後の方向づけみたいなご意見もございました。

あとどなたかお一人かお二人。

藤田委員 藤田と申します。区民会議は本来課題を考えて、その課題の解決と。課題といいますと、何か不足しているところとか、そういったことが取り上げられることが多いと思うんですけども、今回見学したところも非常に市民団体が活動していてすばらしい緑になっていると思うんです。ただ、いい例をさらに伸ばすというのもこれも1つの課題解決かなと思っておりますので、過去の1期、2期、3期を見ますと、こ

ういった緑はまだ取り上げていっしやらないので、今回緑を取り上げるのは意義があるんじゃないかなと思っております。

それから、今回見学が、正直言うと一番いい例を見てきましたので、それを区内全域に広げるにはどうしたらいいとか、先ほど大村さんからあったように、公園にも問題がある。私が申し上げたのは、花とか緑というと、みんな楽しんで活動する方も多いんですけども、宮前区はもう1つの地盤として大変街路樹が整備されているんですけども、それを活用したというような活動がちょっと少ないのかなと、そんなことも考えられるといいなと思っております。

直本委員長 ありがとうございます。

こちらのほうからどうでしょうか。太田委員、ご質問でもいいんですが。

太田委員 今の環境と人なんです、見学されたところは、皆さんもう区民会議の委員になられた方がみんな活動してきた本当に実績のあるところと思うんです。でも、そこへいくのにやっぱりどうしようかなと思うことがあるじゃないですか。気軽になかなか参加できない。大村さんのようにご自分で実践されていっしやれば、では、ほかの事例も見に行こうかと思うでしょうけれども、そうした、だれもがじゃなくてもいいんですけども、やっぱり区民の皆さんに興味を持ってもらう、子どもたちも、そういうきっかけづくりはしていくのがきっと区民会議の役割じゃないかなと思うんですけども、いかがでしょうか。

直本委員長 ありがとうございます。きっかけづくり、本当に大変大事なことだろうと思います。

あと山下委員、何かございませんか。

山下委員 私も自治会をやっています、公園も若干関係したことがあるので申し上げますと、やはりその地域の公園の周りの人たちが協力しないとその公園はよくなっていかないよね。例えば大村さんなんかも第4公園にお近くにお住まいで、非常に熱心におやりになっておられるんですけども、私もその公園の半径何メートル以内の人がしょっちゅうやっていると、僕らの地区の公園だと、ある1人の人が昔地主だった人が非常によくおやりになって、それにつられて皆さんやっているんですけども、実際にはそれぞれの公園には管理運営協議会というのがありますから、ああいうのをどんどんつくって行って、要するに1つ2つの公園、あるいは1つ2つの地域じゃなくて、全体が持ち上がっていくようなことを考えないといけないのかなとも思うし、それもなかなか難しいかなというのはあるし、そうすると、宮前区の中の公園が全部がきれいになっていくということが我々の望みなんだけれども、どこから手をつけていくか、やはりその地域の住民の方の公園に対する考え方を持ち上げていかないといけないんじゃないかなという気はしています。また、結局地域・世代交流部会に私は入っているわけですけども、実際には小学校に対してアンケートをとるというだけ

れども、その相手となる保護者ですか、結局宮前区というのは30年前ぐらいから人口がふえまして、今の段階では急激に団塊世代の卒業生がどんどんできているわけですね。そういう方たちは地域にまだ溶け込んでいるか溶け込んでいないかわからないんだけど、結局対応する大人の方々をどういうふうに組織していくかというのも1つの問題じゃないかなという気がします。あるいは町内会、自治会なんかもありますけれども、私どもの自治会では、やはり小学校に対して囲碁の上手な方が出ていって、教えているんですけども、いろいろ普及に努めている方もおられますし、そういう交流のやり方もあるんじゃないかなという気はします。ですから、むしろ小学校がどういう希望があるかということが出てきたら、その後の段階で要するに地域がどういうふうに対応していくのか、そういうことも考えていく必要があるんじゃないかな、そんな気がしています。

直本委員長 ありがとうございます。大変いろんな取り上げ方があるし、かかわり方というのがまた一層難しいなという感じがいたしております。私も先ほどの写真にあったのに一緒に参加をさせていただきまして、地域の方々がわずかな期間、6年7年ぐらゐの期間でここまで努力すれば変えることができるんだなという実例を見せていただいたような気もしますし、また、地域の方々が支えているから行政も動いているんだなというような感想も持たせていただきました。

こういったものを私たちが見て、では、それを区民会議の中で見学したこと、得たことを今後どのような形で生かしていくのかなということが環境と人の部会のこれからの課題かなと考えておりますし、また、世代間のほうについては現在アンケートを依頼中ということですので、このアンケートにつきましては、ちょっと事務局からどのような内容でどんな状況かということの説明をしていただければと思うんですが、よろしいでしょうか。

岩下（カイト） 部会の運営のお手伝いをさせていただきます株式会社カイトの岩下と申します。よろしくお願いいたします。

調査票のほうですが、12ページからになっておりますが、もう1度ごらんいただければと思います。こちらは部会の中で、先ほどの繰り返しになりますが、わくわくプラザですとか、学校に地域がどのように入っているのか、それから、これからそういった交流を例えば学校で進めていく、地域と学校の交流、それから世代の交流を進めていく上でどのような課題、何が障害になっているのか学校に直接お聞きできないかということで作成したものです。

ちょっと簡単に見ていただくと、4ページで、1ページが依頼という形になっております。依頼連絡先ですね。地域といいましても、PTA、おやじ会等の保護者団体ですとか、企業や市民活動団体、自治会等を全部含むものということです。具体的には、授業中における地域の連携、例えば部会のほうでも、地域の方が算数、英語を教

えたり、昔遊び体験をしたり、戦争体験をお話ししたりということで、そういった形で何かありますかというようなこと。

それから、次、14ページになりますが、授業以外の活動でどのようなものがあるのかということ。バザーですとか交通安全教室、それから地域に向けた学校の広報としてどのようなことをやっているのか、最後に地域との連携、人材活用に向けて課題があるようでしたらどのようなものがあるのかというようなことを、選択式、あと自由記述で何か聞き出せないかということで、こちらの調査票を昨日各学校にお配りしまして、12月頭の締め切りということで回収をお願いしたところです。

直本委員長 ありがとうございます。今ご説明がありましたような形で地域・世代間交流部会のほうは、学校と地域の人々とのどのようなかかわりを保つことができるんだろうかといったことの素材ということでアンケートを依頼しております。このアンケートが回収された段階で、また部会としてどのように取り上げられるか、あるいは取り上げられないかを含めてまた協議を進めていくといったような形に進んでいくのかなと思っております。

まだ部会のほうはそれぞれ細かい点で議論が煮詰まっていないということですので、きょうの状況のご意見等を踏まえて進めさせていただきたいと思いますので、今日区民会議委員以外の方でご出席の方で、今それぞれの部会から発表しました内容等につきまして参考になるようなご意見ですとか事例のご紹介ですとかありましたらお願いしたいと思うんですが、ちょっとほかの方にとっても、参与の方も今ご出席になったばかりということで、委員さんの中であと追加してこれをお話ししておきたいという方はいらっしゃるでしょうか。

太田委員 今回、宮前区内の小学校における連携と言っているんですけども、むしろ地域連携とか交流となると、中学校のほうがもうちょっと交流できるんじゃないかな。

直本委員長 これは地域とのかかわりを持つ区域というのが、多分小学校単位ぐらいのほうがかかわりを持ちやすいんじゃないかというような土台の話があったものですから、今現在のところは小学校にしかアンケートを送っていないという状況のようです。

太田委員 といいますのは、実は私はさくらまつりの実行委員会に入っていて、あそこでミニFMをやると、宮前平中学校の放送部の皆さんがミニFMを経験するんですね。これは地域と連携という感じで1つ事例があるんですけども、そうした実際に動くのは中学生のほうで地域で動きやすい部分もあるのかなというのは1つの事例なんですけれども、そんなものもあってもいいんじゃないかとちょっと思ったものですから。実際に今やっているということで。

それから、実は宮前市民館の運営審議会委員をやったときに、福祉の視点からということで手話の勉強を小学校でやったんですね。これはやっぱり校長先生がとても熱

心に、宮崎小学校だったと思うんですけども、5年生が実際に手話をやる皆さん、それは宮前区の社会福祉協議会の中で手話の会を持っていらっしゃるグループに来てもらって実際にやっているという事例も実際にあったんですけども、ちょこちょこしたそういうものをもうちょっとクローズアップさせて、それは市民館の行事というか、イベントの1つとしてやったんですけども、そうしたものをもうちょっとふやしていけば地域の活用ができるんじゃないかな。宮前区内にいらっしゃる方というのは結構いろんな活動をしていらっしゃる方がとても多うございますから、そうしたのもちよっと発掘して、こんな事例でこんなふうに地域にということが、みんながやはり、なかなか情報はないと思うんですけども、集められないかなと思いました。

直本委員長 ありがとうございます。中学校につきましては小学校のアンケートを踏まえた段階でまたどうするかというのは検討させていただければいいかなと思います。

それでは、部会長さん、それぞれ何かつけ加えてお話ししておきたいことがございましたらお願いしたいと思います。

大槻委員 今アンケートは小学校にいろいろ出したわけでございますけれども、やっぱり学校から見て今何が困っているか、あるいは地域に対してどのようなことを希望するかというようなことも出てくるだろうと思うんですが、あと部会のほうで審議しないといけないんですけども、もう1つやっぱり今度は、一方、子育てをやっている保護者から見て一体学校あるいは地域に対してどのような希望をするか、あるいは本当に困っていることは何だろうかというようなことも調べないといけないのかなと思っっているんです。この間も川崎市のPTA総会ですか、その分科会のいろんな資料を見ますと、やはり子どもの遊ぶ場とか、学校が終わった後の学びの場所とか、何かそういう場が欲しいというような保護者の意見が多いようなことを見受けたわけでありまして、このようなこともちょっと調べてみる必要があるのかなと思っております。

豊島委員 同じ部会の中での質問というのはおかしいかなと思うんですけども、今学校の先生は物すごく忙しいんですよ。本当に先生はいっぱいお仕事があって、これは大変だろうなと思います。それは私たちはわかった上でアンケートを出していかなきゃいけないなと思うんですが、本当に先生はお忙しいんです。これを100%回収を目的にしていられるんですか。

直本委員長 それはもう100%の回収は。

豊島委員 じゃ、やっぱり100%でないと、ノーコメントのところを入れてもやっぱり100%は必要だと思うので。部会の中の質問で済みません。でも、先生は本当に忙しいんです。

直本委員長 どなたが回答してくださるか、ちょっと私どもではわからないんですけども。

それでは、まだまだ意見が出尽くせないところですが、参与の方には一番最後にまとめてまたご意見を伺うことにしまして、部会の審議状況、それに伴う意見については一応ここでおしまいにしてよろしいでしょうか。

それでは、次の課題でございますが、フォーラムを来年の3月に予定しております。これは第3期の区民会議のときには1年目のフォーラムが先ほどお話がありました震災の関係で流れております。したがって、第4期で1年目のフォーラムは久々に行われるという段取りでございます。これにつきましては企画部会のほうでいろいろ協議をいたしました。そういった協議をもとにいたしまして事務局側でフォーラムについてのたたき台をつくっていただきましたので、それを事務局から説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

岩下（カイト） これも私岩下から説明をさせていただきます。

皆さん、資料の16ページをお開きになってごらんいただければと思います。今、委員長さんからあったように、あくまで企画部会のご意見を受けて事務局で作成しましたたたき台ということですので、きょうこれを踏まえてご意見、あとさらなる工夫ですとか、違った形式のご提案でも結構ですのでどんどんご意見をいただければと思います。

まず資料の順に説明させていただきますと、まず日時ですが、3月20日、祝日になります。水曜日10時から15時ということで、お昼を挟むような形で行うという提案です。会場ですが、区役所4階会議室だけでなく、区内各地をちょっと回るような企画として考えてみました。サブタイトル、これはあくまで仮ですが、第4期宮前区民会議始動！地域体験から人づくりと世代交流——この人づくりと世代交流というのは今回のそれぞれの部会のテーマになります——を考えるとということです。

ターゲットをどのあたりにするのか、これからもまた皆さんのご意見を伺いたいところですが。

今回の企画趣旨ですが、室内で学び話し合うだけのフォーラムではなくて、地域の現場、区民会議のこれまでの討議から生まれた活動の成果を特に体験して感じ取ってもらえるような形にしてはどうかということです。

もう1つは、その中に今回のテーマである人づくりと世代交流について、ウォークラリーという形を通じて現場体験した後、みんなで交流、あとお互いに気がついたことや感想も言い合えるような場を設けるという形です。区民会議フォーラムは毎年大体行っておりますが、今回は中間発表ということで、期末ですとまとまった提案を発表してご意見を伺うということが必要なんです、中間ということで、こういった体験型もありかなと個人的には思っております。広報の方法等はまだちょっとこれからです。

プログラムですが、大きく午前中の第一部、昼食、午後という形で分けて考えてみ

ました。午前中が二、三時間かけてみやまえ体験ウォークラリーということですが、これはどのように人を集めるかということは皆さんのほうがアイデア、地域の実情等をご存じかと思うんですが、できれば、いろんな世代の方、いろんな組織、町会、子ども会かもしれませんし、皆さんの活動団体等に声をかけて集めたい。その場でできれば世代をミックスしたチームでコースを回っていただくようなウォークラリーですね。そのコースについては、昨年度の提案であります坂道ウォークをちょっとアレンジして体験していただけるような形にする。

それで、道中でチェックポイントを設けて、そこで区民会議の取り組みや今回のテーマに関連する活動の紹介をその現場で行うような形にしてはどうかと。それで、体験や、あとちょっと簡単なミニゲームに挑戦するような形にしてもよいかなど。例えばここにコース例とあるんですが、区役所をスタート・アンド・ゴールという形にします。そこで去年の情報サポーターズから、宮前トリビアかわかりませんが、そのみやまえクイズみたいなものにまず答えていただいて出発すると、富士見台小学校で今回の世代交流、学校での活動をアンケートするというのもありましたが、その中から例えば昔遊びを高齢者の方に教えていただいたり、実際に学校で活動されている方にお手伝いいただくような形ができるかなと。

それから、公園に回って公園体操をちょっとみんなで一緒にやってみたり、あとこ文に行ってカルタをちょっとやってみる。それからあと、ちょっとコース的にプレーパークをやっているところまで行くのは難しいと思うんですが、ちょっと出張する形でやっていただいたり、あとは、今回宮前兄妹というマスコットがありますので、それとも一緒に記念撮影を撮るような子どもでも楽しめるような要素も盛り込んでもいいのかなと。

あと参加目標をどのぐらいの規模にするのか、何名程度を目指すのか、ちょっとこの辺もご意見等を伺いたいところです。

それで、先ほどもありましたが、委員の方の出身団体、地域団体等を通じて参加者を募集すると。うまくいけば、地域・団体対抗にしてもおもしろいかなと思っております。

区民会議委員さんも、できればチームと一緒に入っていただいたりチェックポイントの運営として入っていただけるとよいかなどと思っております。今日ちょうど環境人部会の発表からもありましたが、知っているだけじゃなくて、やっぱり体験するとかなり違うということですので、区民会議の委員さんも運営に入っていただいて、逆にかなりいろんな方にかかわっていただかないと成り立たない企画かなと思っております。その辺は実現性等についてもご意見をいただければと思います。いろんな方を駆り出せるような企画にしたいと思っております。

それから、昼食はグループごとにさらに交流を深めるような形でお弁当で、持参と

いう形になるかと思いますが、とっていただいて、午後はディスカッションということで、まず最初に参加チームごとに、どこの活動が楽しかったですか、こういう新しい発見があった、きょう集まったうちのチームはこんなチームですみたいなことをまずチームごとに発表してもらおうと、この発表の準備については昼食の際に一緒に検討していただければなど。

それから最後に、今回のテーマである担い手をこれからどうしようですか、世代交流を進めるには何が足りないんだろうといったような課題、そういったところまで突っ込んでディスカッションですか今後の検討に役立つような意見が引き出せるとよいかなど思っております。

以上が企画です。かなりいろんな方にかかわっていただくことが必要ですし、今までのフォーラムより逆に大変になる部分もあるかと思いますが、以上のような案を作成してみました。

続けて、17ページ、18ページは、過去のフォーラムの参考資料として、チラシ、17ページは20年度の、これは中間のときですか、このときは活動事例の方に来ていただいてここで発表して、グループディスカッションという形でやっておりました。18ページは、これも過去のプログラム例ということですね。今回はとにかくフィールドに出ようということで、今までとちょっと趣向を変えた案となっております。

説明は以上です。

直本委員長 ありがとうございます。今説明をしていただきましたように、実は今回のフォーラムにつきましては、従来のフォーラムとはかなり形の違うものを検討いたしております。それも時間も午前から午後、ましてフォーラムに興味、関心のある人だけじゃなくて、子どもさんまで含めて大勢の層の方に参加していただけないかといったような、それから転入者、このみやまえ坂道ウォークにつきましては、先ほど区長さんもお持ちでいろいろ回っているということをおっしゃいましたけれども、既に坂道ウォークを参考にしているいろんな方が坂道を歩いていらっしゃるのを見聞きいたしております。また、この情報サポーターズの冊子につきましても、12月の下旬にはでき上がる予定になっております。それを1月ぐらいから転入者の方々に配るといような予定になっておりますので、1、2、3ということになりますと、転入者の1月、2月に転入した方々には情報サポーターズの冊子をお渡しできるということで、転入者の方にも宮前区にはこういうのがあるんだよということを、中身もともかく、こういう会議もあるんだよ、こういったところに参加していろいろ宮前をいい方向に持っていくためにあるんだよといったようなことも転入者の方にも理解してもらえ、加わってもらえればなおいいのではないかなといったようなことで、かなり広大な構想でやっております。

実際的に時間の問題ですとか午前午後といったことで大丈夫かなということを懸念

しながら提案をさせていただいておりますので、これは実際にこれに近いことをやるとなりますと、年内に意見を固めないでだめだということになりますので、この場で区民会議の委員さん皆さん全員のご意見を、これについてこんな問題があるんじゃないか、これは無理じゃないかとか、こういうふうにしたらもっといいとかいったようなことについてのご意見を伺いたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、マイクを回しますので順番にお願いしてよろしいでしょうか。

太田委員 とてもいい企画だと思うんですが、これは運営するのはすごく大変だなと思うんです。各ポイントにみんな私たち区民会議委員が張りつかなくちゃいけない。そこにそれぞれの皆さんの団体のグループでここを担当という、そうしたきちっとした区分けをして、そこを責任持ってやってもらわないとできないな。ただ、やっぱり体を動かすということは身になることですから、そしてその後ディスカッションはすごく生き生きとしたものになると思うので進めたらいいと思うんですが、午前中のポイントがとても課題だなと思いました。

豊島委員 欲張りフォーラムというか、物すごい、でも、やるんだったらやってみて、できないところは間引けばいいし、やっぱりスタッフは大変だろうなと思ったり。でも、やってもいいんじゃないですか。雨が降ったらどうするかなんてみんな考えちゃうんですけども、そんなマイナーなことは考えないようにして、いいんじゃないですか。賛成です。

田浪委員 私もこれは説明を受ける前にぱらぱらと見て、おもしろそうだなとすぐに思ったので、イベント的な形でなるべく多くの方に参加していただけるという意味ではとてもいい企画だなと思いました。確かに2時間3時間でこれを全部ポイントでカルタをしたり冒険遊び場を体験したりというのは時間的にもちょっときついなという気がするので、あと、これだと、それをやろうとすると、やっぱり歩く範囲がすごく狭いですよね。本当にこの周りだけになってしまうので、チェックポイントはチェックするだけとか、あとはせっかく自然について今回の区民会議では扱おうとしているので、皆さんも回ったような自然、こんなところにこんな公園があるよという紹介だけでも十分おもしろいラリーになるような気がします。

あとプレーパークは多分いなげやの隣の土橋1丁目公園で月1回やっていると思うので、土橋7丁目公園にわざわざ来てもらわなくても、その久保さんとかに相談すれば、第2期の区民会議をやっていた方たちが今もう開催を始めているので、もしもやるんだったらできると思います。だから、多分周りの地域の方の理解もあるので、やるなら、そこは多分できると思います。

平井委員 平井と申します。今までの坂道ウォークをアレンジしたり、それからサポーターズの冊子の中からクイズをすとか地域を回るといったことはとてもいいことだと。ただ、このコース例はもう少し検討すべき、行ったり来たりという、これは流れとし

て距離が行ったり来たりになるので、そういうコース例はもう少し検討して、世代間交流という、青少年でディスカバーウォークということで各4地区を子どもたちは回っているんですね。だから、そういうことは不可能ではないと思うんです。宮崎地区、宮前平地区、野川、有馬の4地区を午前中かけて、それぞれの地区から、例えば有馬のところまで歩いて行くというようなことは子どもたちは子ども会と青少年とでそういうイベントは組んでいるので、そういうことは不可能ではないことはあります。だから、ちょっと変えないと、正直これはそれと同じことをやるということは、子ども対象になりますので、もっと坂道ウォークをテーマにしたりとか情報サポーターズでいろいろ見てきていただいた中に書いてあるようなことをやるとか、今年度の目指すところとかというのをもう少し練り直してやれば、若い人とか当日だけの、例えば中高生のボランティアを募集したりとかという形で、実際に我々だけじゃなくて一般の人も巻き込むような形の募集の仕方をやるとかという形でいろんな方法は考えられると思いますので。

大槻委員 なかなか大変な企画だと思うんです。これは区民会議の委員の方も相当頑張らないとできないだろうなと感じます。

それから、やはり午前中から午後まで相当長い時間あるわけですけれども、どれだけの方が参加できるのかなという、ちょっと限られるのかなという感じもいたします。

宮崎副委員長 なかなかすばらしい企画だと思うんですけれども、要は当たり前やってよかったなということで、当たり前やることの難しさというのは、我々この区民会議の委員だけではとてもではないけれどもできないんだろうと思うんです。だから、やはりいかに多くのボランティアの人を巻き込んでやるかということ、それともう1つは、やはりいろんなところにそれぞれのサークルというんですか、何かそういうものがあるので、そういうものを今回この区民会議フォーラムで一堂に会して何かやるということは本当の意味での盛り上がりにつながるんじゃないかなと。例えばさっきもちょっと話が出ていましたが、さくらまつりのプロデューサーの斎藤さんをこちらに連れてくるとか、あるいは青少年指導員の岸さんを引っ張り込んでくるとか、そういうことをやってわいわいがやがや言いながら1つの方向に導いていくというか、進んでいくというか、そんなことが必要じゃないかなと感じました。

黒沢副委員長 なかなかこれはおもしろい企画だと思いますが、宮前区全体の地図を広げてみますと、これは非常に狭い範囲のポイントですので、この辺はまだ大いに練らなければいけないかと思います。雨天の場合は区役所にみんな弁当を持って集まってきて何かやればいんですから、天候はそんなに心配することはないと思います。これはさらに練ってこういう企画で進めたらおもしろいかと思います。

佐々木委員 今回今までと違って一般の人とか若い人あるいは転入組ということをや

き込みたいということなんですけれども、そのためにはちょっとこのタイトルをぜひ工夫したいと思います。この宮前区区民会議フォーラムと聞くと、多分若い人は来ないと思うので、サブタイトルで非常に、あと17ページのチラシのイメージ、これはこれでいいんですけれども、それとはちょっと違った楽しいような感じのイメージをぜひ出していただければというか、考えたいと思います。

大村委員 企画自身はいいんですけれども、随分盛りだくさんで、例えば宮崎第4公園、公園体操とあるんですけれども、時間帯が多分合わないですよ。合わせようすると、講師の方に、リーダーの方に特別出演するのとエキストラをどうするかという問題があります。それから、昼食を持参しようなんて、こういうのはちょっといただけないと思います。

福田委員 私は全くのど素人でわかりませんので、質問のしようもないし、話のあれは出しようもないんですけれども、非常に気がついていことは、要は楽しくておもしろくてためになる、それであれば大いにやったほうがいいと思うんです。ただし、そこで心配なのは安全管理、そして周囲の親兄弟などが、よかったね、坊や、ためになったね、あしたの勉強に非常にプラスになる、これからの勉強にプラスになるんだねというようなものを企画して実施してもらいたい。と同時に、ここで提案された方はまだご存じだと思うんですけれども、私は知りませんが、もしこういうことをやるんだ、こういうシミュレーションだというのなら、こういう画面に、公園のほうでこういう体操をやっているんだとか、ウォーキングでポイントでこういうことをやっているというのを、私たちは公園にこの間行きました。第4公園を見たり水沢の森を見学しました。やはり百聞は一見にしかずで、こういうウォーキングをやるならこういうところがあるよ、そういうふうにして、安全管理はここが危険ではないよ、こういうところもあるんだよとかいうようなことが見ればわかるような気がするんですけれども、行ってみなきゃわからないよと突っぱねないで、せっかく時間がありましたら、そういうのを画面で見せていただければ、私たちもそれに乗りやすいということで、話を聞いていても、私はど素人ですから何か乖離したような感じで違和感を持って聞いております。私は賛成で、皆さんがよければついていきたいと思いますので、ご指導をお願いしたいと思います。

森山委員 スポ推の森山ですけれども、こういうウォークラリーとか青少年さんが子ども会さんと、昔私もついて回ったこともありますけれども、いわゆる安全面に関しては、私たち、せんだつても秦野から水無川を上って、上流戸川公園まで10キロコースを宮前区地域振興課事務局で募ってもらって行いましたけれども、この各町内会さんに対して宣伝、どうやって人を集めるか、いわゆる各町内会さんの回覧板に入れていただいて、そのかわり相当数の枚数ですけれども、そうしますと、今回ちょっと不人気かなと思っていましたけれども、50人簡単に集まりました。

それから、今度安全面に関しては、例えば私たちのスポ推は皆さんより少し元気に歩ける者もおりますので、4・5人の誘導、信号等の安全面の確認とか、そういうもののお手伝いはできると思います。あと企画の各ポイントでのどういうものがあるか、これは青少年さんのほうがベテランですので、よくそういうポイントを教えてもらって、私たちはどっちかという、私の場合なんかは大人を強引に連れて歩くか、強引にプレーさせるかというほうが得意なんですけれども、そういうまちなかを歩くのは青少年さんのほうがよく企画を練っていただければと。総合的には私も賛成ですし、そしてもう1つの企画として、知らないまちの人が違うまちへ来て、例えばこの区役所周辺を歩くということもいいんじゃないか、それを誘い合うという企画で町内会さんに全部配るといような形もいいんじゃないかと思っております。

白井委員 先ほどから大勢の人を巻き込んで何かができたらというふうにおっしゃっている方が何人かいらっしゃる。そのためにはどうするか、やっぱりそのどうするかというところがうまく煮詰めて、みんながやってよかったなと思えるような企画に持っていけたら楽しいなと思います。

芒崎委員 私もとても行ってみたいなと、まだ行ってないところがありますので、近場でもまだ行ってないところがありますので、行ってみたいなという気持ちはあります。このときには、まだこれからでしょうけれども、参加されるお子さんの年齢とか、またお母さん方、そういうことをどうするのかということと、これは全部回らなきゃいけないということじゃなくて、ある程度のポイントをいただければということも可能なのかなと思います。このうち全部回らなくても何カ所か回れるところを回って帰ってくるということもできるのであればまた違うかなと思います。

また、今の子どもたちはサッカー、野球と、ちょうど春ですからいろんなことが入ってきますので、ですから、やっぱり参加される方々の町会さん、自治会さん、私も町会をやっているんですが、人集めに一苦労するかなと思いつつも、できるだけはやれることを協力していけたらと思っています。

藤田委員 大分無理のある計画かなと思います。アイデアそのものは大変結構なんですけれども、午前中ウォークラリーをやった人たちが第2部の感想発表会とかディスカッションにそのままストレートに、お子さんが最後のディスカッションに入るというのは非常に難しいし、ですから、その関連性をどこまで追求するのかということが1つと、もう1つは、先ほどお話に出ましたけれども、お子さん対象のディスカバーウォーク宮前というのがございますよね。やっていらっしゃいますけれども、1カ所に対して5コースぐらいから集まるようにしていて、1つのコースで歩ける人数というのは非常に限度があります。大々的に宣伝してどうやるか知りませんが、私の感じでは、これだったら100人以下ですね。それ以上集まったら歩けません。幾ら細かく分けていっても100人の人数を、実は私はこの17、18に小田原のツーデーマーチに行っ

てまいりましたけれども、200人ぐらいの人数、大人ばかりを歩かせたら物すごい距離になって、小田原の場合はれっきとした公式な行事ですから警官も出てパトカーも出て、そういう安全対策をとらない限り無理ですから、基本的に100人以下でしかできないだろうし、さらにその中にお子さんも入っているとすれば、午後のほうへどうつなげるかというあたりをよほど練らないと難しいのかなと。大変辛い意見で恐縮ですけれども、そう思います。

岡委員 岡と申します。今改めてこれを見てみますと、目的は区民会議をどうやって知らしめるかということですよ。この宮前区を考えたら6地区か7地区あって、その人たちを、先ほどもありましたが、100名ぐらいの人を集めて話をしても、本当にそれで区民会議というのがどういうものかと理解していただけるのかなというふうな疑問をまず持ちます。どういうやり方が別にあるのか、これからずっと考えなきゃいかんと思いますが、例えば7地区に我々は出かけて行って、どこか集会所を借りて、場所を借りて、その地区の方に、区民会議というのはこういうことをやっているんだよと。ただ、それで集まっただけじゃないんだったら、前座で落語を一席設けるとか、何とかしてもっと広く本当にダイレクトに区民会議というのはこういうもので、皆さんの声を反映してここをよくするんだよということを周知徹底するほうが本来の目的に合っているんじゃないかなという気がします。と思うので、ちょっと意見を述べさせていただきます。

直本委員長 ありがとうございます。今の岡委員からのご意見は、区民会議のフォーラムというか、区民会議を広めるための方法として何があるかといったようなことでのご意見のほうが強いかと思いますので、これはまた改めてそういったことを周知するための方法のところで検討させていただくということで、区民会議のフォーラム全体に集まって皆さん方に理解してもらおうといったような形のフォーラムの企画でございますので、そういった形でどういうふうに進めていくかということについてのご意見を皆さんからお聞きいたしました。

いろいろ賛否両論、非常に無理じゃないかとか、いいアイデアだけれども、こういう点が問題じゃないかと、いろいろご意見がございました。皆様方の共通の中で集約して確認できる内容といいますのは、まず日時ですけれども、これは3月20日ということで、時間につきましては10時から15時となっておりますが、これにつきましては内容の検討で何時から何時までというのを改めて詳細は変更もあり得るということでご理解をお願いしたいと思います。

それから、参加を呼びかける層についてでございますが、従来のやり方と異なって、もっと市民の多くの方をできるだけ巻き込んだ形でフォーラムを行っていくと。ただ、運営の内容等につきましては、若干ご提案の中にも、これは無理じゃないかなということのご提案もありました。そういった点につきましては、またこれの相談に

乗っていただいております岩下さんにもご意見等もお伺いして、なおかつその上でまた最終的には企画部会でどういった形で運営ができるかということで進めさせていただきたいと思っておりますけれども、それでよろしいでしょうか。

本当にこれは市民の方を組み込んで行うということになりますと、やはり区民会議、私たち自身がいろんな面で動かなきゃいけない場面が出てくると思いますので、早目早目にそういったことについての情報ですとか意見収集とかいったことについては進めていきたいと思っております。これの意見の集約については、岩下さん、何かご意見がございましたら、一言お願いしたいんですが。

岩下（カイト） いろんな意見を出していただいております。私のほうの意図としましては、コース例と書きましたが、確かにかなり盛りだくさん過ぎる部分もあります。それはこれから各団体でどこが協力していただければいいかと、安全面ですとか、その辺を考慮して、もしこういった形でやるのであれば、スリム化もかなり必要かなというのが今思ったことの1つです。

あとは、コースにつきましては、歩くのをメインにするか、いろんなこれまでの区民会議から生まれた取り組みを体験していただくか、どっちにウエートを置くんだろうと考えたときに、体験のほうかなと思いましたので、歩く範囲は安全のことを考えてあくまで狭い範囲で、ただ、ちょっと目先を変えて、場所を変えて体験して、その中で坂道もちょっと紹介できるというかなというような考えのもとでつくったコースというのを1つ補足として言っておきたいと思っております。

ただ、やはりかなりいろいろ問題等もありますので、私のほうもちょっといろいろ考えたり、実際としてはかなり調整とか下見等も必要だと思っておりますので、企画部会の方と一緒に詰めていければと思っております。

直本委員長 ありがとうございます。実はこれのみやまえ坂道ウォークと情報サポーターズは第3期の区民会議で提案されたことが実現したような形のものなんですね。そういったものが現実にこんな形で活用されて組み込まれているんだよということは大変意義があることじゃないかなということが企画部会で提案されて、それを受けて今回の提案の内容ということになったわけでございます。本日のご意見を伺いまして、これをもとにして企画部会のほうでまた案を練り直すということで、また皆様方にお諮りしたいと思っております。

一応フォーラムについてそういう形で進めさせていただくということですが、最後に竹田参与、ご意見をよろしくお願いたします。

竹田参与 発言の機会を与えていただきましてありがとうございます。非常に素晴らしい企画だと思います。これまでの区民会議の成果を生かしつつ、そしてこれからの皆様方、第4期の区民会議の方々、また地域の方々、新しい世代の方々を巻き込んで新しい試みをするということは非常に素晴らしいと思います。

委員の方々からさまざまな問題点やご意見などは出ておりますので、私も同じところを疑問に思っていた部分もございますので、その点は割愛させていただきたいと思いますが、1つ、やはりこのフォーラムの目的、メリットとしては、開催する側としてはわかりますけれども、参加者側としてのメリットがいまいちわからないというところが1つ大きな疑問点でございます、だから参加者がふえないのかなど。宮前区民会議フォーラムがやっているということはいろいろ告知する分で周知はできるんですけども、それに踏み込んで参加をしてみたらどんなメリットがあるんだろうと考えたときに、そこでやっぱりちゅうちょして参加をしないという方がほとんどだと思います。今回もすばらしい企画があって、参加すれば間違いなく宮前区が知れる、また区民会議がどういった取り組みをしているということがわかるというメリット、また新しい方々と交流ができるというメリットはあると思うんですよ。それをもうちょっと参加される方々のメリットを大きくアピールして多くの新しい方々を巻き込んでいくような取り組みが1つ必要なのかなと思います。それについては、やはり委員の意見にもございましたタイトル、今まで大々的なタイトルはやはり宮前区区民会議フォーラムという、いまいち魅力に欠けるタイトルでございますが、サブタイトルもございまして、もうちょっと工夫をして、新しく参加すると、今回は何かいいことがあるんだよということをわかりやすくタイトルからやっていければ、少しは改善点になるのではないかと思います。

直本委員長 竹田参与、ありがとうございます。その参加した人のメリットということについては、また事務局とも相談して、どういう方法で組み込むことが可能かということもまた検討させていただきたいと思います。

それでは、以上をもちまして本日の区民会議の議事を終了させていただきます

次回の第4回の全体会の日程につきましては、後から事務局から説明があると思いますので、よろしくお願いいたします。

今後のスケジュールについて最後に確認させていただきたいんですが、資料の23ページでございます。本日が第3回の全体会を行っております。3月20日にフォーラムがあります。その前に区民会議の委員さんによる地域の他の区民会議との交流会が2月14日に予定されております。その前までに第4回の全体会の日程を入れたいと思っております。したがって、第4回の全体会の日程は1月の下旬ぐらいまでということになりますし、その前にこれから12月中ぐらいにかけてそれぞれの部会が開催されるという予定になっておりますので、ご了承をお願いしたいと思います。

では、事務局、よろしくお願いいたします。

司会（日下部） 直本委員長、長時間にわたりましてありがとうございます。

本日は長時間にわたりまして活発にご議論いただき、本当にありがとうございます。この後、事務局から事務連絡をさせていただきたいと思います。企画課の雨宮か

ら説明を申し上げます。本日はどうもありがとうございました。

3 閉 会

午後 8 時 1 分閉会